

東京 IPO 特別コラム

2017年8月1日 Vol.92

今日から8月、IPO銘柄で夏の思い出づくり

「夏が来れば思い出す・・・。」というフレーズの歌がありますが、株式投資をなさいます皆様の夏の思い出はいかがでしょうか。猛暑の7月から月が変わって8月。南の海では大型台風が発生し、日本列島に上陸をするのではとの予報が出ています。台風上陸のような出来事が株式市場にも生じやしないかと不安が募る中ではポジティブな思い出づくりなどできそうもないのかも知れませんが、ことIPO市場に関しては多くの投資家のホットマネーが集結します。その運用結果の良否に関わらず思い出づくりに一役買ってくれそうです。

そこに登場する8月の役者のごとき銘柄は以下の3銘柄でいずれもマザーズ上場企業。8月3日にIPOするのはシェアリングテクノロジー（3989）、続いて9日にはトランザス（6696）、30日にはUUUM（3990）（ウームと読む？）というちょっと変わった名前の企業がIPOを予定しています。IPO銘柄に関心をお寄せの皆さんにとってこれら3銘柄への取り組みは久々にとても興味をそそられ、良き夏の思い出となってくれるかも知れません。

①シェアリングテクノロジー（3989）上場予定日8月3日 マザーズ

名古屋に本社を置きライフサービス領域に関する「パーティカルメディアサイト」及び総合プラットフォームサイト「生活110番」の運営、WEB集客にかかるコンサルティング業務等の事業を展開。社長は32歳の若手。「独自のマッチング技術と新しいアイデアでライフサービスマーケットに大きなイノベーションを起こし続けます。」という社長のメッセージが印象に残りますが、これだけでは何をやっている企業なのか十分に理解できません。

類似企業はジャパンベストレスキューシステム（2453）やアクトコール（6064）、アサンテ（6073）、アクアライン（6173）などとされ、実際には日常生活上のトラブル解決のためのマッチングサイト運営が主力。主なサイトは、「カギ110番」「雨漏り修理110番」「シロアリ110番」「農機具買取査定君」などのほか、各サイトを統合した「生活110番」など。2017年5月末現在、ジャンル数119、サイト数193、総加盟店数2238店（うち稼働1469店）を有する。SEO（検索エンジン最適化）対策も手掛けています。

ビジネスの主体となっているWEBマーケティングサービスでは暮らしの中での“困りごと”を抱えるユーザーと、それぞれの専門業者（加盟店）とをマッチングさせるサービスを提供しています。年中無休のコールセンターのスタッフが自社取引システム「SHARING PLACE」を使って、自動、もしくは手動にて適した加盟店を選びます。契約が成立しサービスが提供された場合に加盟店から報酬（手数料）を受領しています。これに続く事業がWEBコンサルティングサービスで依頼主の所有するサイトの検索

東京 IPO 特別コラム

エンジン順位を向上させ、集客増加を図っています。対価手数料として月額固定料金を収受。2016年9月期の連結売上高構成比は、WEBマーケティングサービス83.2%、WEBコンサルティングサービス16.8%。2015年9月期から今期2017年9月期までの業績の成長性は大きく順調に拡大している状況が見られます。今期も中間期まで既の実績が出ており順調な進捗率が見られることから通期も上方修正の可能性があり初値からいきなり人気化の可能性が高いと見られます。但し、公開価格1600円で公開時の時価総額は既に92億円と高い印象があります。

②トランザス(6696) 上場予定日8月9日 マザーズ

IoT(モノのインターネット)関連の機器開発販売とシステム提供。通信機能をもった端末であるIoT端末や機器装置「ターミナル」の製造販売と、それを利用したシステム・サービスの提供を手掛けています。具体的には、各種ソフトウェアの開発からターミナルの製造、システム・サービス提供、メンテナンスまでをワンストップで展開。ハードウェアの製造は中国や台湾のEMS(電子機器の受託生産サービス)に委託。今1月期の1Qの業績進捗率は低く、通期売上見通しも12.5億円でまだ事業規模は小さいが経常利益は2.4億円を見込み比較的収益性は高い。サイトでの社長の映像による説明が好印象。IoT関連銘柄として人気化が予想されます。公開価格1300円で公開時の時価総額38.8億円。

③UUUM(3990) 上場予定日8月30日 マザーズ

ついに日本の株式市場にあのYouTube関連銘柄が登場することになりました。同社はYouTuberを中心とするクリエイターのマネジメント業務、クリエイターに関連するプロモーション提案やグッズ販売、動画コンテンツの制作等を事業目的として4年前に設立され急成長。創業1期目にあたる2014年5月の業績は売上高1.6億円、経常赤字18百万円でしたが、2015年5月期売上高13億円、経常赤字2.6億円、2016年5月期売上高33億円、経常利益2.2億円と黒字に転換。まだ未公表ながら2017年5月も第3四半期までで売上高46.9億円、経常利益4.1億円を達成しており、通期ベースでは売上高60億円、経常利益5.5億円(筆者推定)が見込まれます。既に2018年5月期に入っており、どこまでの成長を見込んでいるか大いに注目されます。公開価格などの条件設定は10日になりますのでその後、時価総額などが想定され初値形成に向け関心が高まることとなります。本コラムでも改めてフォローしたいと思います。

(東京IPOコラムニスト 松尾範久)